

事務事業チェックシート

事務事業No 299 事業名 母子生活支援施設運営事業

[長期総合計画]

分野別目標	3	子供たちがいきいきと育つまち
政策	1	安心して子供を産み育てることのできる環境の整備
施策	1	安心して子供を産み育てることのできる環境の整備
取組方針	3	保護・援助を必要とする子供への支援

事業種別	継続		
事業期間	～		
事業実施の根拠法令	児童福祉法第38条		
関連個別計画			
担当課・担当課長・Tel	こども総合支援センター	武一 薫	402-7830
関連課			

[事業基本情報]

事業区分(1)	事業経費	○	管理経費	
	その他			
事業区分(2)	自治事務	○	法定受託事務	
	その他			
会計・予算区分	会計	一般会計		
	款	民生費		
	項	児童福祉費		
	目	児童福祉施設入所費		
	大事業	児童福祉施設入所事業		
	中事業	母子生活支援施設運営事業		

1 事業内容

事業目的	(「誰・何」をどういう状態にする)ための事業か 配偶者のいない女子又はこれに準ずる事情にある女子とその者の監護すべき児童を入所させて、児童の健全な育成を図り、母子の自立を促進させる。		全体事業概要 市内にある施設（和歌山すみれホーム）及び必要によりその他の施設への入所調整や入所後の調査等を行う。 モニタリングの結果：施設側は利用者からの意見を把握し、即時現状調査を行い、適正な対応を行っている。 《入所までの流れ》 入所の相談（来所）→申請受理→施設との入所調整→入所希望者による施設見学→和歌山市福祉事務所長が利用決定→入所に同行→現況調査（年1回）			
	事業内容	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
・公益社団法人母子寡婦福祉連合会との委託契約及び委託料の支払事務 ・入所申請、面接、決定、退所等に関する面接及び事務 ・措置費の申請・請求・精算及び実績報告事務		・入所申請、面接、決定、退所等に関する面接及び事務 ・措置費の申請・請求・精算及び実績報告事務	・入所申請、面接、決定、退所等に関する面接及び事務 ・措置費の申請・請求・精算及び実績報告事務	・入所申請、面接、決定、退所等に関する面接及び事務 ・措置費の申請・請求・精算及び実績報告事務	・入所申請、面接、決定、退所等に関する面接及び事務 ・措置費の申請・請求・精算及び実績報告事務	・入所申請、面接、決定、退所等に関する面接及び事務 ・措置費の申請・請求・精算及び実績報告事務

2 事業コスト

事業費等（千円）	平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度	
	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	計画	決算
事業費	62,627	62,505	55,235	56,981	74,125	58,639	69,946	69,946	69,946	
伸び率（%）	-	-	▲11.8%	▲8.8%	34.2%	2.9%	▲5.6%	▲100.0%	0.0%	-
人件費	正規職員	8,016	5,613	5,613	11,853	11,013	11,187	12,872	12,872	
	正規職員以外	69	0	0	0	0	1,910	0	0	
	小計	8,085	8,819	8,819	11,853	11,013	13,097	12,872	12,872	
国庫支出金	28,001	28,001	27,584	28,157	37,029	28,949	34,940	34,940	34,940	
県支出金										
市債										
その他	6,568	10,977	66	98	66	119	66	66	66	
一般財源（税等）	28,058	23,527	27,585	28,726	37,029	29,571	37,029	37,029	37,029	
所要人数（人）	正規職員	0.70	0.74	0.74	1.49	1.39	1.4	1.61	1.61	
	正規職員以外	0.04	0.00	0.00	0.00	0.00	0.84	0	0	
主な予算内訳	母子生活支援施設入所扶助費（69,946千円）									

3 目標及び実績

指標名	単位	目標値	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
			実績値	実績値	実績値	実績値	実績値
活動指標	相談件数	目標値					
		実績値	33	27	26		
		達成度（%）					
成果指標	和歌山市措置世帯数（延） （和歌山すみれホーム等施設の和歌山市措置世帯）	目標値					
		実績値	166	152	202		
		達成度（%）					
成果指標	退所世帯数	目標値					
		実績値	11	3	5		
		達成度（%）					

4 事業の評価

評価基準					
[妥当性]事業のニーズはあるか		増加している	○	横ばい	減少している
[妥当性]事業手段は妥当か		現行の手段でよい	○	一部見直しが必要	見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か		市が行うべき	○	他の主体との協働も可能	市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要があるか		急いで取り組む	○	中長期的に取り組む	緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか	○	できる		あまりできない	できない
[有効性]成果目標はどの程度達成しているか		達成している(90%以上)	○	おおむね達成(70~90%未満)	達成していない(70%未満)
[有効性]上位施策への貢献度		重要かつ高い貢献度がある	○	一定の貢献度がある	貢献度は低い
[効率性]事業費を抑制できるか		できない	○	制約はあるが可能性はある	できる
[効率性]受益者負担の見直し	○	適正		負担は求められない	見直しが必要

5 今後の方向性 (担当課評価)

事業内容の方向性	充実				
	現状維持			○	
	縮小				
	廃止				
		ゼロ	縮小	現状維持	拡大
コスト投入の方向性					

担当課評価の根拠	<p>様々な理由で自立が困難となっている母子世帯の生活場所を確保し、自立した生活を営めるようにサポートした。和歌山市内2か所(県立、市立)の母子生活支援施設は両施設ともに老朽化がすすみトイレや浴室も共用であったが、平成27年度に県市合同で母子生活支援施設の建替えと、新施設への引越しを行った。今後は引き続き児童の健全な育成を図り、母子の自立を促進させる。</p>
見直し・改善内容	